

ヒロシマ ユネスコ

広島ユネスコ協会は、1973年に設立。世界遺産や寺子屋運動の推進に協力し、ユネスコ活動奨励賞の授賞や韓国・大邱広域市との交流、平和の鐘事業などを積極的かつ地道に行っています。



日ごろの活動をたたえて行われた表彰式



5校7団体が活動奨励賞を受賞

国際理解、協力、交流などの活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞の表彰式

と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フェスタ 2013」は

15回目を迎えて一月十九日広島市文化交流会館で開かれました。

「活動奨励賞」表彰式とコンサート

今年で15回目／平和づくりへ顕彰・懇談

盛大に新春フェスタ開く

第一部、奨励賞表彰式は、まず北川建次会長の挨拶（5ページに全文）で始まり、続いて選考委員長の広島大学・中山修一名誉教授が講評。北川会長から賞状と記念のブロンズ楯が次の学校、団体に贈られました。

学校部門は五校。広島市鞆町小学校は、千羽鶴を折り続けて亡くなった佐々木禎子さんの母校。禎子さんを偲んで平和教育に広く取り組んで来た活動に対して。広島市立早稲田中学校は、国際理解教育を目標に外国からの来校者を通して、異文化への関心を高めるなどの国際交流活動に。広島市立落合中学校は、生徒会活動で「ちよこつとポランテア」を立ち上げ、地元

の祭りに参加するなど、地域に根ざした活動に。広島山陽学園山陽高校はユネスコスクール加盟校。ESD活動のなかで海外留学生や海外姉妹校との交流などの活動に。広島経済大学「広げよう!!平和折り鶴プロジェクト」は、子どもたちを対象に「折り鶴の日」を

(2ページ)

受賞団体一覧

☆広島市立幟町小学校

「折り鶴」に込められた平和の活動をとおして、ヒロシマの心を育み、国の内外の子どもたちとの交流の輪を推進

☆広島市立早稲田中学校

諸外国の教育関係者や海外の生徒との交流をとおして、国際感覚を醸成、国際理解・交流を促進

☆広島市立落合中学校

「ちよこボラ」活動をとおして、幼稚園・小学校・中学

開催するなど、折り鶴に込められた思いへの架け橋としての活動に對して。

社会部門は七団体。NPO法人小河内Oプロジェクトは、豊かな自然と歴史の地元を守るための住民主体の活動に對して。NPO法



「ひろしま音読の会」の朗読

人ビザサポートセンター広島は、日本で暮らす外国人の「よろず相談役」としての貢献活動に。セイブ・ザ・イラクチルドレン広島は、核の被害にさらされたイラク国民への医療面を中心にした支援活動に。平和大通り樹の会は、広島復興のシンボル平和大通りの再認識と緑化意識の啓発活動に。シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつぐ会は、戦後広島復興と被爆者の支援に貢献したフロイド・シュモーさんの功績を讃えるための資料収集や広報活動に。ひろしま通訳ガイド協

校など地域との絆を深め、共に生きることの大切さを推進 ☆広島山陽学園山陽高等学校 持続可能な社会づくりの学習活動を幅広く推進 ☆広島経済大学興動館 広げよう!! 平和折り鶴プロジェクト 折り鶴の作成と原爆の子の像折り鶴の活用をとおして、若い世代に平和の大切さを広く発信 ☆NPO法人小河内Oプロジェクト 豊かな自然や歴史と伝統ある文化を保護し、住民の総意



弦楽合奏・新春コンサート

第二部は、弦楽合奏による新春コンサート。出演はヴァイオリンの伊達万浩さん、ヴィオラの永井啓子さん、チェロの森純子さん。いずれも広島交響楽団のベテランメンバー。演奏は「早春譜」に始まりドヴォルザークの「ユモレスク」、リストの「愛の夢」と続き、このあとチェロの森さんが弦楽器の話やそれぞれの音色の特徴、アンサンブルの魅力などについて、普段は聞けないとおきの話をされ楽しく耳を傾けました。締めくくりはドホナーニの「セレナーデ」を演奏。会場は満席。弦楽合奏の妙な

のもも次世代に継承活動 ☆NPO法人ビザサポートセンター広島 長年にわたり、在留外国人のための無料相談会を続け、安心して暮らせる環境づくりと多文化共生づくりに貢献 ☆セイブ・ザ・イラクチルドレン広島 イラクの劣化ウラン弾被災の子どもたちの医療支援と戦争NOを求めて尽力 ☆平和大通り樹の会 平和大通りの樹木をとおして、広島復興と平和について市民の認識を高め、緑化意

る新春コンサート。出演はヴァイオリンの伊達万浩さん、ヴィオラの永井啓子さん、チェロの森純子さん。いずれも広島交響楽団のベテランメンバー。演奏は「早春譜」に始まりドヴォルザークの「ユモレスク」、リストの「愛の夢」と続き、このあとチェロの森さんが弦楽器の話やそれぞれの音色の特徴、アンサンブルの魅力などについて、普段は聞けないとおきの話をされ楽しく耳を傾けました。締めくくりはドホナーニの「セレナーデ」を演奏。会場は満席。弦楽合奏の妙な

会場を移してのパーティーは、コンサートの余韻のなかで始まり、木村進匡副会長の挨拶、広島平和文化センター 常本誠さんの乾杯の音頭で会食となりました。食事の合間には、受賞団体の紹介を入れながら和やかな雰囲気でも盛り上がり、古田碩永副会長の挨拶で閉会しました。

識の高揚に貢献 ☆シュモーさんの「ヒロシマの家」を語りつぐ会 戦後、広島・長崎の支援と復興に尽力されたシュモーさんの活動を本や紙芝居にまとめて、広く市民に平和啓発 ☆ひろしま通訳ガイド協会 観光ガイド・通訳・翻訳をとおして、広島国際交流・協力の発展に貢献 ☆ひろしま音読の会 朗読をとおして、日本語の美とヒロシマの記憶遺産の普及に努め、平和の文化の高揚に貢献

こうしてユネスコ会員と受賞団体や関係者、参加者との和やかな交歓、交流の一日は過ぎ、今年も年初めにふさわしい思い出に残る「ユネスコ新春フェスタ」となりました。



記念のパーティー

(文化部長 井尾義信)

平和な世界づくりに 挑戦するユネスコ

○ユネスコと世界の今

今年、広島ユネスコ協会は、設立40周年の節目を迎える。ユネスコ精神に賛同し、平和な世界づくりに挑戦するユネスコの多彩な活動に参加する世界中の人々のエネルギーは、今や地球を包み込むほどの大樹となつて青葉の輝きを増している。

しかし、大樹の茂みの下に広がる現実世界を見渡せば、あちらこちらの国で社会格差が問題化し、凶悪なテロ事件が起こり、地域紛争や戦争も頻発している。ユネスコが目指す平和で持続可能な社会の構築の前には、乗り越えるべき大きな壁が立ちふさがっている。

○ユネスコの使命



ユネスコ創設のアイデアが、第二次世界大戦の反省から生まれたことは、よく知られる。1945年11月、終戦からわずか3か月後、ロンドンに戦勝国を中心と

もつと広めようユネスコの心



広島大学名誉教授 元日本ユネスコ国内委員 中山修一氏

する37か国の文部大臣が集まりユネスコの創設に合意した。その1年後に20か国の承認を得て「ユネスコ憲章」が発効し、ユネスコが誕生した。

その使命は、教育、科学、文化の発展を通して、世界大戦を繰り返さないために世界中の人々、とりわけ未

来を担う子どもたちの心の中に平和のとりでを築くこととされた。教育分野では、特に「国際理解教育」と「万人のための教育」の推進が目標に掲げられた。

○ユネスコと共に歩む日本 発の世界づくり

敗戦国日本のユネスコ加

盟が認められたのは、創設から5年後の1951年のことであった。それは、日本の国連加盟が実現する5年も前である。現在、ユネスコは、195の国と地域の加盟により、まさに人類共有の地球規模の平和創造システムに発展した。日本は、戦前の教育を反

活動らしい 発信 広島ユネスコ協会らしい 広島発の平和教育を世界へ

省し、平和を希求する心を育てる価値観へと大転換を図った。同時に、ユネスコ精神を世界人類の普遍的価値とするために、民間のユネスコ活動を背景に、ユネスコの全面的な支援を始めた。高度経済成長を成し遂げた日本は、アメリカに次ぐユネスコ財政の2番目の拠出国となった。そして日本は、ユネスコの基幹プログラムである「国際理解教育」、「万人のための教育」、「環境教育」などを、早くから財政的にも内容的にも支援してきた。

さらに2002年には、日本発の平和で持続可能な社会づくりを目指す「持続可能な発展のための教育」(SDG)の推進を提案するなど、ユネスコ活動の指導的地位を占めるまでになった。

○世界へ発信・広島発の平和教育プログラム

この広島発の平和教育プログラムを世界中の教師と子どもたちに届ける取り組みは、広島ユネスコ協会の将来にふさわしい活動の柱になると思われる。



国際理解について研さん

高校生

国際理解セミナー

活発な意見交換
で交流を深める

高校生の国際交流・理解を深めていくための国際理解セミナーを去る十二月二十三日(日・祝)に青少年センターで開催しました。午前中は、当協会の副会長である中山修一氏(広島大学名誉教授)による基調

講演「平和な世界に挑戦するユネスコ」と題して講義を受けました。

過去の歴史に学び、今、しなければならぬことは何か、その役割について分かりやすくお話しされ、その後、山陽学園山陽高等学校から和太鼓の演奏活動を通じた国際交流、広島市・大邱広域市青少年交流事業

参加者による、二年間の交流事業に参加した体験談などの発表がありました。国によって生活習慣や文化の違いがあっても、また、言葉がわからなくても通じるものだと実感したことなど、それぞれ交流の様子が発表され、参加者は関心を持って聞き入っていました。今回の参加者は四十八名その内、高校生が二十三名(六校)で四班に分かれて意見交換を行いました。

寺子屋街頭募金

昼食をはさんで、午後からは、八丁堀・旧天満屋ビル前に移動して、「恵まれない人たちに教育を！」と、通りかかった市民に大きく声かけをして、コアクション(世界寺子屋運動募金活動)を行いました。募金は九万八千三百円の浄財が集まり、日本ユネスコ協会連盟へ送付しました。今回、このセミナーの開催に際しては、青少年センターに募集から会場づくりまで周到な準備をしていただき感謝しています。セミナーを通してお互い

セミナーに関するアンケート結果

(主な内容 回答者20名)

- この事業の満足度
 - 満足 ⑭ どちらかと言えば満足 ⑥ どちらかと言えば不満 ①
 - 不満足 ① 分からない ②
- 事業の内容について
 - ①この講座に参加しようと思った目的
 - 国際交流について学びたかった ③
 - ユネスコについて学びたかった ②
 - ユネスコ班として仕事をするため ②
 - 部活について紹介することになった ②
 - 他の高校生と交流できると思った など
 - ②その参加目的は達成できましたか
 - 達成できた ⑬ どちらかといえば達成できた ⑤
 - どちらかといえば達成できなかった ④
 - 達成できなかった ④
 - わからない ①
 - ③講座の内容はどうでしたか
 - 期待以上であった ⑩ どちらかといえば期待通りであった ⑩
 - どちらかといえば期待以下であった ④
 - 期待以下であった ④
 - わからない ①
- この事業の講演会につて
 - ①講義の分かりやすさは
 - 分かりやすい ⑬ どちらかといえば分かりやすい ⑤
 - どちらかといえば分かりにくい ④
 - わからない ①
 - ②テキストや資料はどうでしたか
 - 良い ⑭ どちらかといえば良い ③
 - どちらかといえば悪い ①
 - 悪い ① わからない ①
- 日時・回数について
 - ①曜日 都合がよい ⑭ 他の曜日が良い ②
 - ②時間帯 ちょうどよい ⑬ 良い ② 悪い方がよい ①
 - ③回数 ちょうどよい ⑭ 多い ② 少ない ①
- 今後、青少年センターにどのような事業があると良いですか
 - このような交流会 ⑤
 - このまままでよい講座 ②
 - 言語を教えてくれる講座 ②
 - 国際問題や歴史の真実を学ぶことのできる事業 ②
 - 国際交流会 など ②

時事英語講座

がユネスコ活動を知るきっかけとなり、さらに交流の輪が広がることを期待しています。今後も協会としては、青少年センターと共催し、是非、継続していきたいと考えております。ご支援の程お願いいたします。当日のアンケート結果は上記のとおりです。(青少年育成部会長 國田繁)

一月二十日(日)から四週間にわたり、青年を対象とした「時事英語講座」を開講しました。広島ユネスコ協会と青少年センターの共催で、四年目になります。定員いっぱい二十名にお申込みいただきました。内容は、英字新聞等の記事の読み方や内容理解だけでなく、グループごとにテーマを設けて、記事の紹介を元にディスカッションを進行する課題に取り組みました。最終回にはフランスからの留学生をお迎えして、時事だけでなく身近な話題まで英語で意見交換。参加の動機は様々ですが、充実した時間となりました。(青少年センター)

新春フェスティバルから

北川建次会長あつち

二十一世紀もいつのまにか十三年、二〇一三年となり、平成も二十五年、四半世紀も経ちました。しかし、内外の情勢は一向に改善されず、平成どころか、ますます騒がしくなっております。



世界の中で日本のあり方、ますます難しくなってきた昨今の情勢です。しか

広島市立古田中学校がユネスコスクール登録!

このたびユネスコ(本部・パリ)から、広島市立古田中学校を含む日本の三十一の学校が、ユネスコスクールとして認められました。

日本全国で、認定校は五五〇校になりました。広島市立小・中学校では古田中が初めて。おめでとうございます。今後ユネスコ活動の活発化が期待されます。(事務局長 藤井孝行)

し、ユネスコの希求する所は全く変わっておりません。不戦の誓い、平和の維持、核のない世界の実現、持続可能な社会を生み出す努力等であります。

ユネスコの意義は重要となり、

「会結成40周年」に心から感謝 不戦の誓い、平和の維持さらに推進

ESDやユネスコスクールの普及、活動はますます喫緊の度を強めております。こうした課題に 대응べくユネスコ活動奨励賞を実施しておりますが、今回で記念すべき十五回目となりま

した。その間の会員の努力や、関係諸機関のご厚情は図り知れないものがあります。この機会をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さらに、広島ユネスコ協会は本年六月、結成四十周年を迎えることとなりますし

た。これも会員をはじめ、関係機関のご尽力の賜物であり、感謝の上もありません。一つの組織が三十年も四十年も継続できるのは、容易なことではありません。皆様とともにこのこ

とを喜ぶとともに、将来に向けて広島ユネスコ協会の活動を、ますます盛り上げて行こうではありませんか。

本日受賞される学校、諸団体は学校五、団体七の十二団体であります。心からお祝い申し上げます。そしてこれからも、国際平和文化都市広島にふさわしい活動を継続、発展させていかれることを期待しております。

最後にこの事業実施に当たり、多大なるご尽力を賜りました各関係機関、団体、また本日出演、ご来場いただきました皆様に対して、厚くお礼申し上げます。

中国地区ユネスコ研究会(宇部)報告

来年二月、広島開催決まる

十二年度中国ブロックユネスコ活動研究会は山口宇部ユネスコ協会主管で昨年十一月十七・十八日、宇部市で開かれ、広島から山本隆信、藤井孝行、内田一士と亀井が出席しました。

会のテーマは「原発事故によりエネルギー政策の見

直しと、持続可能な開発を伴う環境問題への取り組みが迫られる中、ESD(持続発展教育)を主唱してきた地域ユネスコは環境に関する課題解決のリーダーシップをどう発揮していくかを考える。開催趣旨は「世界一煤塵(ばいじん)の降る町から産官学民の連携による「宇部方式」で公害追放に

成功—この地域の歩みを振り返り、ユネスコが取り組む環境問題へ積極的な提案を行っていく。開会十三時。市長らの来賓挨拶。次いで宇部興産顧問が講師の基調講演「地域の環境とユネスコへの期待」は、石炭の町から宇宙探査機はやぶさに至る地元企業の公害追放と技術革新の歩み。この流れを受けたシンポジウム「環境とユネスコ活動」は講演講師、市長、NPO環境関係代表、防府ユ協会長らパネリストによる活動報

告と問題提起。この後、高校生(岡山美作高、岩国高水高)の報告「ユネスコ運動の今」、日ユ協・国内委員報告で第一日終了。

二日目の地ユ協代表会議で次年度は広島ユ協主管、十四年二月開催が決まりました。

〈感想〉開催地の特性をESDの分野である環境に結び付けた展開は、「産官」の味付けが濃く、やや普遍性に欠けるが、環境を一般論で片付けずに地域の「地ネタ」で仕込んだ意図と意欲は買う。ユネスコ運動の課題への一瞥や県単位の報告などもあれば良い。

(中国ブロックユネスコ連絡協議会 会長 亀井 章)

国際交流・協力の日

広島市中区の国際会議場で開かれた「国際交流・協力の日」(昨年十一月十八日)に、広島ユネスコ協会は、平和・交流推進団体として参加。ユネスコ活動奨励賞やユネスコサロン、韓国大邱市との親善訪問などの活動を写真展示しました。

杉並ユネスコが広島訪問

「15周年記念の集い」

今年、広島訪問が15周年となることから、「記念の集い」を開くとともに、被爆電車の乗車会などを行います。日程と主な行事は次のとおりです。

○3月25日(月)14時～16時半
「広島訪問15周年記念・

ヒロシマの集い

主催：広島ユネスコ協会
場所：広島平和記念資料館

メモリアルホール(地下)

広島市平和文化センター
理事長 ステイブン・リ

ーパー氏の記念講演ほか

○3月26日(火)13時～16時半
「被爆電車体験乗車と比

平和・世界遺産部会理事

由田千鶴子さん



中谷美保子会員から「叔父がユネスコ会長に就任し、女性会員を増やしたい」といっているのので入会しませんか」とお誘いを受け即入会して20年です。2003年、第2回大邱訪問団に参加して、慶州の青い空の下、海印寺の八萬歳経を目のあたりに、永年の夢が

実現し、忘れがたい思い出として脳裡に焼き付いています。

一般にユネスコというのと、世界遺産登録の運動などが大きく報じられますが、今だにユニセフと取り違える人もあり戸惑うことがあります。

ユネスコ精神の理解と活動を身近なところから推進するために、会員増加のためにも、広く開放されている「ユネスコサロン」や「平和の鐘」の集いなど、折りにふれ時にあたり、会の催し物をPRすれば成果に結びつくのでは、と思います。

広島ユネスコ協会のひと顔

日誌

〈12年12月〉

治山めぐり(原爆ドーム前乗車)。放射線影響研究所(陸軍墓地)まんが図書館(はだしのゲン)の見学
*皆様の協力をお願い致します
(平和・世界遺産部会長 柴田幸子)

6・14日/広島ユネスコ活動

奨励賞表彰文・紹介文検討会議(国際会議場)

20日/新春フェスタ会場打ち合わせ会議(文化部会・教育部会・事務局)

23日/高校生をつどい(青少年センター)

高校生コーアクション

協会会員

内田一士氏



広島ユネスコ協会には昨年の6月に入会しました。

それまではときどき、寄付をするという関わりでした。世界寺子屋運動の読み書きの基礎教育による貧困の解消や、ユネスコ憲章の前文の「戦争は人の心の中で生まれるもの

13日/ユネスコ活動奨励賞表

「世界寺子屋運動支援募金活動」(旧天満屋広島店前)

20日/新春フェスタ会場打ち合わせ会議(文化部会・教育部会・事務局)

23日/高校生をつどい(青少年センター)

高校生コーアクション

「世界寺子屋運動支援募金活動」(旧天満屋広島店前)

20日/新春フェスタ会場打ち合わせ会議(文化部会・教育部会・事務局)

23日/高校生をつどい(青少年センター)

高校生コーアクション

「世界寺子屋運動支援募金活動」(旧天満屋広島店前)

20日/新春フェスタ会場打ち合わせ会議(文化部会・教育部会・事務局)

23日/高校生をつどい(青少年センター)

彰状揮毫担当者足立理事

19日/新春フェスタ2013開催・ユネスコ活動奨励賞表彰式・新春コンサート

20・27日/時事英語(青少年育成部会・青少年センター)

24日/機関紙第83号プラン会議(広報部会)

30日/杉並ユネスコ協会青年部受け入れ会議(平和・世界遺産部会)

2日/広島ユネスコ協会40周年第2回実行委員会(国際会議場)

3・10日/時事英語(青少年育成部会・青少年センター)

14日/杉並ユネスコ協会青年部受け入れなど会議(平和・世界遺産部会)

〈3月〉

16日/第154回ユネスコサロン・ユネスコ出前講座・大人のための図書館セミナー(中区図書館)「アナウンサー生活40年から」講師 NHK広島放送局アナウンサー 清川 徹さん(文化部会・アステールプラザ)

16日/理事会(アステールプラザ)

25・26日/杉並ユネスコ来広